

2011(平成 23)年度 西南学院の予算概要について

西南学院では、理事会で決定された予算編成方針に基づき、予算を編成しております。2011(平成 23)年度予算は、3月15日の定期理事会・評議員会において承認されましたので、その概要についてご報告いたします。

(1) 資金収支予算書

資金収支予算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに支払資金のてん末を明らかにするためのものです。

2011年度資金収支予算では、資金収入は、178.9億円、資金支出189.9億円で資金収支差額は▲11億円となり、支払資金が31.3億円から20.3億円に減少しております。なお、2010年度決算における翌年度繰越支払資金は、予算より9.4億円増加しておりますので、支払資金は29.7億円に増加予定です。

(2) 消費収支予算書

消費収支予算書は、当該年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものです。

2011年度消費収支予算では、帰属収入合計は115.8億円で昨年予算と比べて0.5億円増加となっております。基本金組入額合計が1.2億円増加(今年度は言語教育センター棟を新築予定ですが、2号基本金(積立金)を充当するため大きな増加となっていません。)したため、消費収入合計は0.7億円増加して104.8億円になります。また、消費支出合計は昨年度より23.2億円減少して115.6億円となります。これは、昨年度は懸案事項であった「退職給与引当金計上基準を50%から100%へ変更」、「償却資産の耐用年数等の見直し」の2点について対応したことにより、例年と大きく異なった予算編成になっていたためです。その結果、当年度消費支出超過額は10.8億円となり、前年度繰越消費収入超過額10.8億円及び基本金取崩額0.1億円を加えると、翌年度繰越消費収入超過額は0.1億円となります。なお、2010年度決算における翌年度繰越消費収支差額が予算より8.6億円好転しておりますので、翌年度繰越消費収入超過額は8.7億円に増加予定です。